

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-508392 (P2005-508392A)

【公表日】平成 17 年 3 月 31 日 (2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報 2005-013

【出願番号】特願 2003-542316 (P2003-542316)

【国際特許分類】

**C 0 7 C 217/28 (2006.01)**

**B 0 1 D 19/04 (2006.01)**

**C 0 9 D 7/12 (2006.01)**

**C 0 9 D 11/00 (2006.01)**

**C 0 9 D 201/00 (2006.01)**

**C 0 9 J 11/06 (2006.01)**

**C 0 9 J 201/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 C 217/28

B 0 1 D 19/04 B

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 11/00

C 0 9 D 201/00

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 10 月 31 日 (2005.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

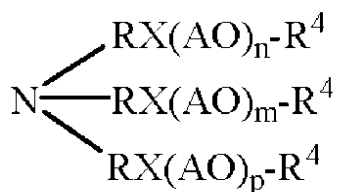
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の一般式 (I) の化合物であって、

【化 1】



各 R がそれぞれ C<sub>6</sub> - C<sub>10</sub> アリーレン基、任意にアリーレン基を含む直鎖または分枝鎖 C<sub>2</sub> - C<sub>20</sub> アルキレン基、または 1 つ以上の - NH - 基をアルキレン鎖中に含む C<sub>4</sub> - C<sub>20</sub> 直鎖アルキレン基であり、X がそれぞれ - O - 、 - S - 、または R<sup>5</sup> が水素または C<sub>1</sub> - C<sub>6</sub> アルキルである - NR<sup>5</sup> - であり、各 AO 基がそれぞれエチレンオキシ (EO)、1, 2 - プロピレンオキシ (PO)、または 1, 2 - ブチレンオキシ (BO) 基であり、n、m、及び p のそれぞれが 0 ~ 50 の数で、n、m、及び p の合計が 4 ~ 約 50 であり、並びに各 R<sup>4</sup> 基がそれぞれ C(O)R<sup>6</sup> 基からなる基から選択された成分、及び - CH<sub>2</sub> - CH(OH) - R<sup>9</sup> であり、R<sup>6</sup> と R<sup>9</sup> がそれぞれ飽和または非飽和、置換または非置換、C<sub>1</sub>

-  $C_{18}$ 炭化水素基である、化合物。

【請求項 2】

各  $R$  がそれぞれエチレン基である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

各  $R^4$  基がそれぞれ  $-CH_2-CH(OH)-R^9$  基であり、各  $R^9$  がそれぞれ飽和または非飽和、置換または非置換、 $C_1-C_{18}$ 炭化水素基である、請求項 1 に記載の化合物。

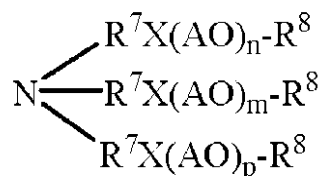
【請求項 4】

各  $R^9$  がそれぞれ  $C_4-C_{12}$ アルキル基である、請求項 3 に記載の化合物。

【請求項 5】

以下の一般式 (2) の化合物であって、

【化 2】



各  $R^7$  がそれぞれ直鎖または分岐鎖  $C_2-C_{10}$ アルキレン基であり、各  $X$  がそれぞれ  $-O-$ 、 $-S-$ 、または  $R^5$  が水素または  $C_1-C_6$ アルキル基である  $-NR^5-$  であり、各  $AO$  基がそれぞれエチレンオキシ ( $EO$ )、1, 2-プロピレンオキシ ( $PO$ )、または 1, 2-ブチレンオキシ ( $BO$ ) 基であり、 $n$ 、 $m$ 、及び  $p$  の合計が 6 ~ 27 であり、並びに各  $R^8$  基がそれぞれ  $-CH_2-CH(OH)-R^9$  であり、そこで  $R^9$  が直鎖または分岐鎖、飽和または非飽和、 $C_1-C_{18}$ 炭化水素基である、化合物。

【請求項 6】

前記  $R^7$  基が全てエチレン基であり、 $X$  基が全て  $-O-$  基であり、並びに  $n$ 、 $m$ 、及び  $p$  の合計が 6 ~ 18 である、請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 7】

全ての  $R^9$  基が  $C_4-C_{12}$ アルキル基である、請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 8】

全ての  $R^9$  基が  $C_4-C_{12}$ アルキル基であり、 $n$ 、 $m$ 、及び  $p$  の合計が 6 ~ 12 であり、全ての  $AO$  基がエチレンオキシ基である、請求項 6 に記載の化合物。

【請求項 9】

各  $X$  が  $-O-$  である、請求項 1 又は 5 に記載の化合物。

【請求項 10】

各  $AO$  基がエチレンオキシ基である、請求項 1、5、6 又は 9 に記載の化合物。

【請求項 11】

各  $R$  がそれぞれ直鎖または分岐鎖  $C_2-C_{10}$ アルキレン基である、請求項 1、9 又は 10 に記載の化合物。

【請求項 12】

$n$ 、 $m$ 、及び  $p$  の合計が 6 ~ 27 である、請求項 1、3、9、10 又は 11 に記載の化合物。

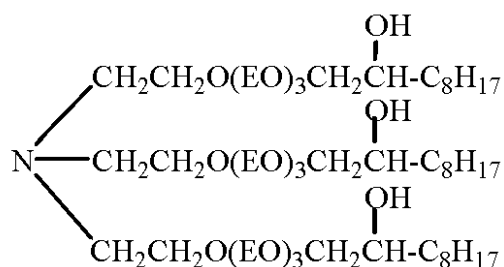
【請求項 13】

$n$ 、 $m$ 、及び  $p$  の合計が 6 ~ 12 である、請求項 1 又は 5 に記載の化合物。

【請求項 14】

化合物が以下の一般式 (IV)、

## 【化 3】



を有し、式中、鎖当たりの 3 個の E O 基は、合計 9 個の E O 基の平均を示し、 $\text{C}_8\text{H}_{17}$  基は直鎖または分枝鎖である、化合物。

## 【請求項 15】

請求項 1、5 又は 14 に記載の少なくとも 1 つの化合物を界面活性有効量含む水性または非水系組成物。

## 【請求項 16】

請求項 1、5 又は 14 に記載の少なくとも 1 つの化合物の消泡有効量を含む水性または非水系組成物。

## 【請求項 17】

前記組成物が、ラテックス塗料、インク、接着剤、または金属作用組成物である、請求項 15 又は 16 に記載の組成物。

## 【請求項 18】

9 モルの酸化エチレンでエポキシ化されたトリエタノールアミンとエポキシ化  $\text{C}_{10}$  オレフィンの反応生成物であって、前記トリエタノールアミンと前記エポキシ化オレフィンが約 1 : 3 のモル比で反応する、反応生成物。

## 【請求項 19】

前記  $\text{C}_{10}$  オレフィンがアルファオレフィンである請求項 18 に記載の反応生成物。

## 【請求項 20】

I) 請求項 1 に記載の化合物を少なくとも 1 つ、及び

II) アルキルポリグリコシドを少なくとも 1 つ、

含む水性界面活性剤組成物であって、消泡有効量の成分 I が水性組成物中に存在する、水性界面活性剤組成物。